

(別紙4(2))

事業所名 : 認知症対応型共同生活介護ハピユシ

作成日 : 令和 2 年 12 月 10 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価、及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題の焦点化が難しくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	事業所の報告等に対する質疑応答だけでなく、事業所の具体的な課題について協議し、運営サービス向上に活かせるような会議のあり方について工夫が望まれる。	その都度状況の流れの中での問題点などを指摘していただき、会議に乗せ運営サービスの向上に取り組んでいくように勤めていく。	コロナウイルス発生に伴い自粛要請等あり、今年度は会議開催が困難な為、課題発生時には、チャージンじゅう課・グループホーム連絡会などへの問い合わせをしていくようにしたいと思います。次年度からは、状況によりその都度議題を頂き工夫していきしたいと思います。	8 か月
2	33(14)	看取りの指針に基づいた終末期ケア等、職員の経験も活かし、職員間で共通したケアが実践できるような研修が求められる。	月1回、看護師を交えた看取りの勉強会を行うようにしていく。	12月の勉強会より取り入れられるように施設長を交えた職員の話し合いを進めていった。	3 か月
3	40(17)	食事介助方法等を検討し、職員が利用者とともに食事が摂れる工夫が望まれる。	以前のように食事時入居者と一緒の食事再開に向けて職員との話し合いを行った。	週1回の食事時に担当者は入居者様とテーブルと一緒に食事をすすめる他、日勤帯の職員も交代で一緒に食事が摂れるようにしていく。	2 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。